

恐竜に
思いを馳せて
太古の湯に浸る。

恐 竜博物館の周囲には、こども広場や軍艦島資料館、シヨップなどさまざまな施設があり、「長崎のもぎき恐竜パーク」として一日中遊べるスポットとなっている。季節や天気によって表情を変える海、冬には真っ白な花が咲く水仙の丘など、自然を満喫できるのも魅力だ。

恐竜パークのそばに建つ「のもん湯」。ここで楽しめるのが、日本屈指の高濃度炭酸泉だ。高濃度炭酸泉は皮膚を通じて体内に炭酸ガスが取り込まれ、血管を拡張する働きがあることから血流が改善され、新陳代謝のアップが期待できるという。

また驚くのは、炭酸泉の水分が少なくとも一一年以上の雨水が起源だということ。近年の研究では、炭酸ガスは恐竜が生きていた約七千五百万年前の地層の炭質物である可能性が高いことも分かってきたという。このことから「太古の湯」とも呼ばれている。

全面ガラス張りの大浴場にゆったりと身を沈めれば、目の前には五島灘が広がり、その先には軍艦島が浮かんでいる。こうした絶景も、のもん湯ならではの

夕暮れ時には軍艦島がシルエットとなって浮かび上がり、これまた絶景。どの時間帯の眺めも最高だ。



天然炭酸温泉
のもん湯



のもん湯に併設している茶屋で楽しめる「野母崎産アジのなめろうセット」。

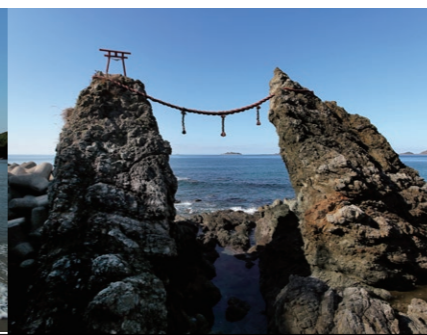
「水仙の里公園」では毎年12月下旬から1月中旬にかけて水仙が咲き誇る。



「日本の渚100選」「日本の海水浴場88選」に選ばれている高浜海水浴場。



恐竜博物館のそばで出会う「夫婦岩」は県の天然記念物に指定されている。



恐竜博物館の目の前にある「こども広場」には恐竜をモチーフにした楽しい遊具が並ぶ。



は。のんびりと湯に浸り、恐竜時代に思いを馳せる。太古のロマンを感じる湯は極上である。湯上りにいただきたいのは、こちらの名物「野母崎産アジのなめろうセット」。野母崎で捕れた新鮮なアジをフライとなめろうで味わい尽くすメニューだ。なめろうはアジのたたきに味噌、大葉、ゴマを混ぜたもの。これをご飯に乗せて、カツオのだし汁をかけていただく。海の町を満喫する一品を心ゆくまで味わってほしい。